

製品名: プロベタセルリンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16513**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	BTC
別名	BTC; Probetacellulin
遺伝子 ID	685.0
SwissProt ID	P35070
免疫原	抗血清はヒト BTC の内部領域から合成したペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70

背景

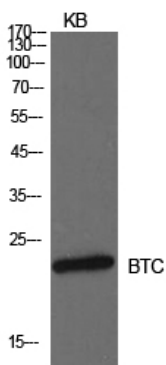
この遺伝子は、上皮成長因子 (EGF) ファミリーのタンパク質をコードしています。選択的スプライシングにより複数の転写産物バリエーションが生じ、そのうち少なくとも 1 つは、タンパク質分解によって分泌型成長因子を生成するプレプロタンパク質をコードしてい

ます。このタンパク質の分泌型と膜アンカー型は、複数の異なる EGF 受容体に結合します。このタンパク質は、膵細胞の増殖とインスリン分泌を促進するだけでなく、網膜血管の透過性も促進します。この遺伝子の変異は、ヒト患者における 2 型糖尿病と関連している可能性があります。[RefSeq 提供、2015 年 11 月]、疾患: β 細胞由来の β セルリンは、糖尿病に伴う血管合併症に関連している可能性があります。、機能: 網膜色素上皮細胞および血管平滑筋細胞の強力なミトジェン。ベータセルリンの作用は、おそらく EGF 受容体およびその他の関連受容体を介して媒介される。、類似性: EGF 様ドメインを 1 つ含む。、サブユニット: モノマー。、組織特異性: いくつかの組織および腫瘍細胞で合成される。主に膵臓と小腸で発現する。、

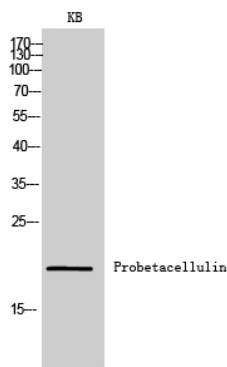
研究分野

エルブ B_HER;

画像データ



プロベータセルリンポリクローナル抗体を用いた KB 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



プロベータセルリンポリクローナル抗体を用いた KB 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。